



PROFESSIONAL DIRECT DRIVE TURNTABLE

PDX-d3S

取扱説明書

〒154-0023

東京都世田谷区若林 1-18-6

電話 03-3412-7011

ファックス 03-3412-7013

Printed in JAPAN

ごあいさつ

この度は、VESTAX PDX-d3S をお買い上げ戴きまして誠にありがとうございます。
ご理解をいたします。

ご使用の前に、本取扱説明書をよくお読み頂きますようお願い致します。

目 次

本 機 の 特 長	3
取 扱 い 上 の ご 注 意	3
A.S.T.S (ANTI SKIPPING TONE-ARM SYSTEM) について	4
各 部 の 名 称 と 機 能	5
お 使 い に な る 前 に	5
組 み 立 て 方	6
接 続 と 設 置	7
調 整 の し か た	8
演 奏 の し か た	9
デジタルコントロール部の機能	10
シンクコントロールの仕方	11
故障かな？と思ったら	12
保証、アフターサービスについて	13
主 な 仕 様	14

安全上のご注意

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしていますので「安全上のご注意」の内容をよくご理解下さいようお願い致します。



警 告

この表示を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注 意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



電源プラグをコンセントから抜け

● 記号は行為を強制したり表示する内容を告げるものです。図の中に具体的な表示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。



分 解 禁 止

○ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な表示内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

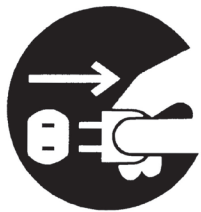


電源指を挟まれないよう注意抜け

△ 記号は注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な表示内容（左図の場合は指をはさまれないように注意）が描かれています。



警告



電源プラグをコンセントから抜く

- 万一、煙が出ている、変なおいや音がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。
- 万一、内部に水や異物などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、その後電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、その後電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

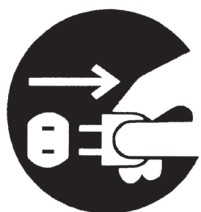


水槽での使用禁止

- 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。



注意



電源プラグをコンセントから抜く

- お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。



- オーディオ機器、スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。又接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。
- 電源を入れる際には音量を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力傷害などの原因となることがあります。
- 5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談してください。
- ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。



- 調理台や加湿器のそばなど湯煙が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に湿度が高くなる場所に放置しないでください。部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

本機の特長

- 新設計の A.S.T.S (Anti Skipping Tone-Arm System) と T.H (トレーシングホールド) 方式を採用したトーンアームは、素早いスクラッチプレイ時の正逆回転動作により発生する針飛びを最小限に防ぎます。また、ベスタクスターンテーブルシリーズ共通の高さ調整機構を装備しており、様々なカートリッジ、プレイスタイルにあわせたベストセッティングが可能です。
- フルタイムクオートロックシンセサイザー方式により、プラッターの回転を正確に制御。また、2 系統の PLL 回路の搭載により、高安定性を実現しました。
- 電子制御により、ピッチコントロールフェーダーのピッチ可変範囲を $\pm 3\%$ 、 $\pm 6\%$ 、 $\pm 12\%$ の範囲で設定することができます。
- モーターのサーボ・ブレーキコントロールを解除するためのモーター・オフ機能や、モーターの回転を逆方向に動作させるリバース機能を搭載しています。
- スティックコントローラーのピッチベンド機能（上下方向）により、レコード盤に直接手で触れることなく、回転速度の微調整を行うことができます。同じくスティックコントローラーのファースト/スロー機能（左右方向）により、回転速度を最大約 50% から最低約 -40% に可変することができます。
- ハイトルクダイレクトモーターの採用により、起動トルク 1.6 ・ を実現。これにより、重量級のターンテーブルをわずか 0.3 秒（33 1/3rpm 時）でスタートさせることができます。
- トーンアームは、世界初のフローティングサスペンション方式の採用により、ハウリングを極力防止することに成功しました。
- ピッチフェーダーには、当社 DJ ミキサーで実績を持つ、デタッチャブルタイプを採用しており、メンテナンスも容易です。
- 針先を照らすスタイラスライトは取外しが容易なデタッチャブルタイプを採用しています。（別売 DSL-1 定価 ¥2,500）
- シンクコントロール端子を装備。 各機能を最大 4 台まで同期させることが可能です。

取扱い上のご注意

1. 針先やレコードに付着したほこりやごみは、よく取り除いてください。

針先にほこりやごみがついたまま演奏しますと、針先がレコード音溝に正確に接触せず、音質が悪化するだけでなく、レコード盤や針先の損耗が早まります。トーンアームからシェルごと取りはずし、柔らかい穂先のはけか毛筆などで根元から針先に向かって、ていねいに取り除いてください。また、レコード盤も良質のレコードクリーナーでよくふいてください。

2. シェル端子は時々ふいてください。

シェルをトーンアームからはずしておきますと、シェル端子にほこりやごみがつき、接触不良を起こし、雑音が発生したり、ハムが大きくなったり、また、音が出なくなる場合がありますので、柔らかい布などで、シェル端子をふいてから、

3. シェルを着脱する場合、アンプのボリュームを“0”にするか、アンプの電源を“OFF”にしてから行ってください。

ボリュームをあげた状態でシェルの着脱を行いますと、不愉快な音がするだけでなく、スピーカーをいためる場合があります。また、シェルの着脱する場合は、針先保護のため、針カバーをしてください。

4. ハウリングとハムについて

ハウリングは、スピーカーからの音や振動がプレーヤーに伝わり、それを再びカートリッジが拾い上げることによって生ずるものです。ボリュームを上げて、ウォーンというハウリングが発生するときは、スピーカーと本体との位置関係をチェックし、音や振動が本機に伝わらないように対策してください。ハムノイズは、他の電器製品から出る電磁波によるものです。本機周辺の電器製品では特にアンプとの位置関係をチェックしてください。また、ハムやノイズはアースを正しくとらないと発生します。アース線をアンプ、ミキサーの GND 端子にしっかり接続してあるかどうかチェックしてください。

5. 転宅などで、遠くへ運ばれるとき。

購入時の包装材で、開梱のときと逆の方法で包装してください。包装材がないときでも、次のことは必ず行ってください。

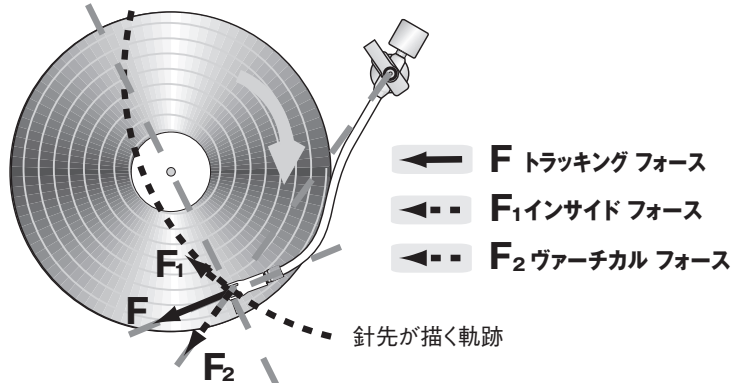
- ターンテーブルシートとターンテーブルを抜き取って、傷のつかないように包装します。
- アースをアームレストに戻し、更にテープで結んで動かないようにしてください。
- バランスウェイトやシェル／カートリッジは、アームから取りはずし、傷のつかないように包装してください。
- 本体は、毛布や、柔らかい紙で、傷のつかないように包装してください。

A.S.T.S (Anti Skipping Tone-arm System) について

A.S.T.S (アンチ・スキッピング・トーンアーム・システム) はプロフェッショナルDJのためのトーンアームを追求する過程で、長年の経験と試行錯誤の末に開発されました。この機構は、激しいスクラッチパフォーマンスの際に生じる針飛びの問題を解消し、今までのトーンアームの既成概念を打ち破ることに成功しました。A.S.T.S はショート/ストレートアームとTH方式(トレーシングホールド方式)という2つの機構を採用することにより、針飛びの原因となるカートリッジに加わる横方向の力、インサイドフォース、アウトサイドフォースを最小にします。

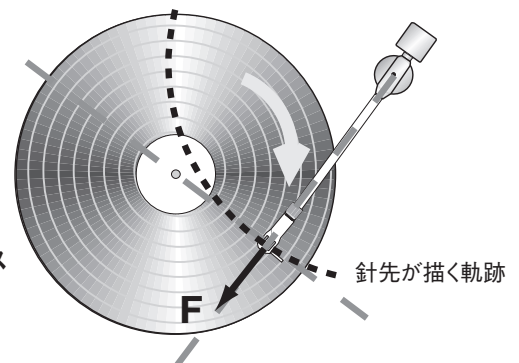
- インサイドフォースとアウトサイドフォースのキャンセレーションを追求するのではなく、これらのベクトルを発生させないことを前提に作られたアンチスキップ機構は、正回転/逆回転時に発生する横方向の力を極小に押さえ、カンチレバーにかかる負担を大幅に軽減します。又、トレーシングホールド方式の採用により、手でレコード盤面を触れる時に発生するトーンアームの上下方向の振幅も、バランスウエイトの重心位置をアーム支点より低くし、復帰力を高めることで最小限に押さえました。この上下左右両方向のぶれを抑えることで、キューイングやスクラッチ動作時の針飛びの発生回数の92%以上も減少させるという驚異的な性能を実現させました。
- アーム有効長を短くし、アルミニウムパイプと真鍮パイプの2重構造にすることで、レコード盤の音溝信号振動を確実に伝達しつつ、ステージやブース内での大規模なSRシステムによって生ずる大音量下での不要外部振動の伝達を抑制し、耐ハウリング性能を50%以上向上させたとともに、音の立ち上がりを初めとする音質面での改善を可能にしました。
- “微細な信号振動を全て伝える”のではなく、“必要な信号振動を如何に伝えるか”と言う見地から、接合部のネジ、接着剤、ピボットベアリング、ボールベアリング等の各パーツのマテリアルレベルの見直しを行い、音の滲み感、圧縮感を排除した躍動感あふれるサウンドを生み出すトーンアームシステムを実現しました。

S字アーム



針先とレコード間に発生するトラッキング フォース(摩擦力)がインサイドフォースを引き起こします。

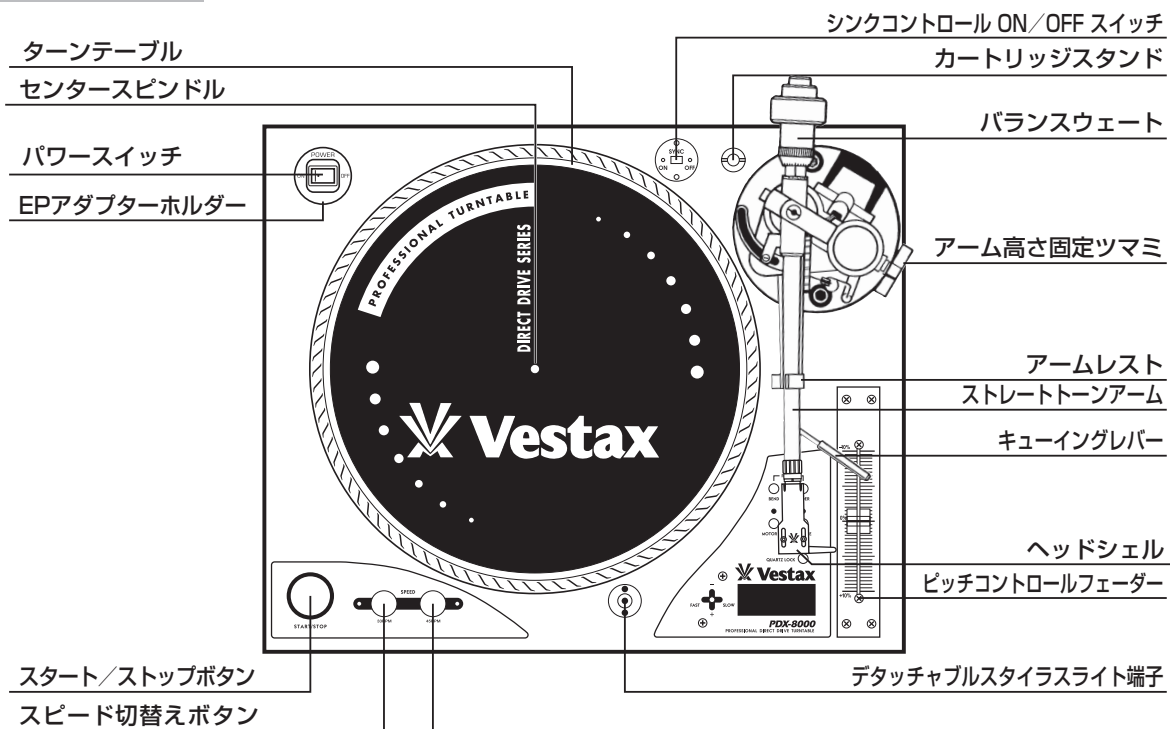
A. S. T. S



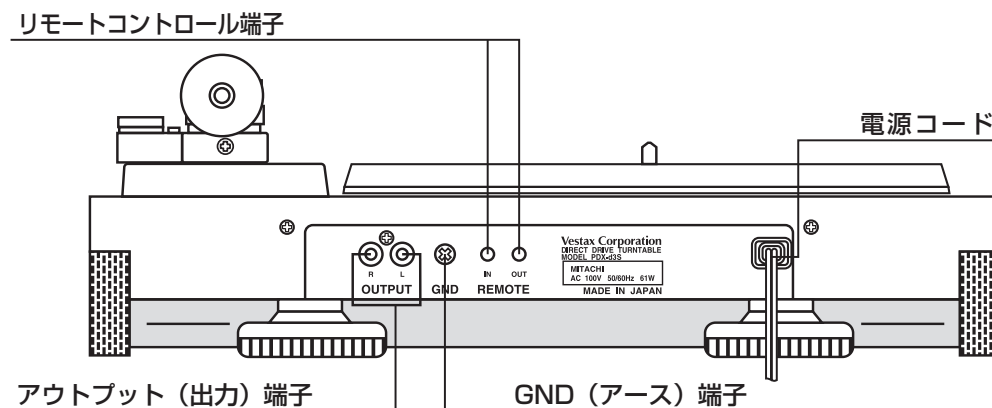
インサイド フォースが最小限に押さえられます。

各部の名称

フロント部



リアパネル部



お使いになる前に

部品、付属品の確認

本機は一部の部品を取り外して包装しております。部品が揃っているか確認してください。

1. 本体
2. ターンテーブル
3. スリップマット

●本体を保護する前部パッキンに配置しているもの。

4. シェルウェイト
5. ヘッドシェル
6. バランスウェイト

●取扱い説明書袋に同梱されているもの。

7. RCA ケーブル
8. GND ケーブル
9. EP アダプター

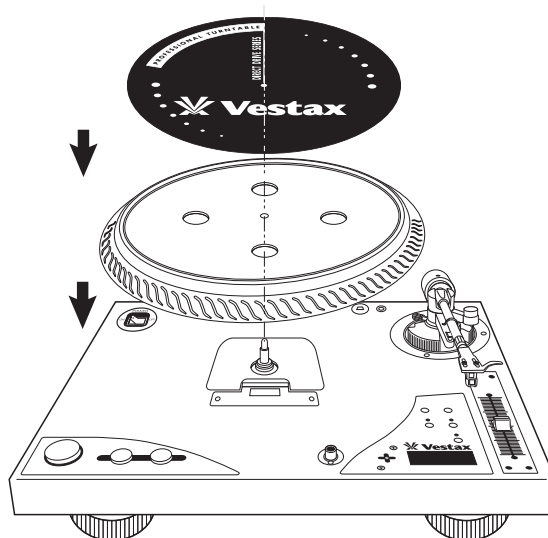
組 立 て 方

ターンテーブルの取り付け

- ① ターンテーブルをセンタースピンドルにはめます。
- ② スリップマットをのせます。

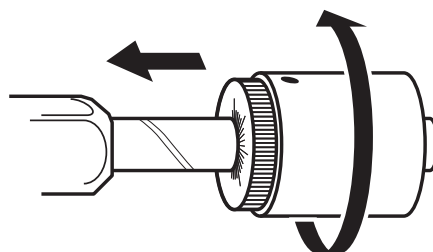
ご 注 意

組み立て調整がすべて完了するまでは、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
ターンテーブルを取りつける場合、本体に当たらないようにご注意ください。



バランスウェイトの取り付け

- ① バランスウェイトをトーンアーム後方から入れ、正面から見て左回り矢印の方向に廻します。



スリップマットの使い方

- ① ターンテーブルの上にスリップマットをのせ、その上にレコード盤をのせます。これにより、ターンテーブルの回転中に、手でレコード盤を止めたり、逆転させることができます。



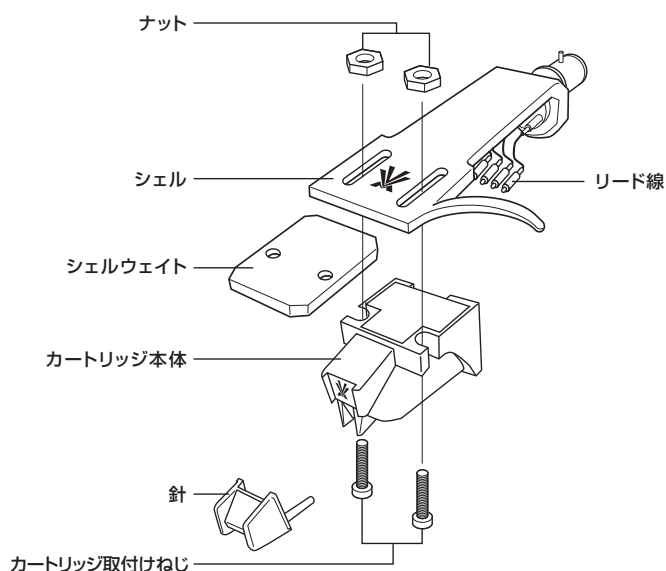
カートリッジの取付け

- ① 図を参考に、ご使用のカートリッジ説明書に従って取付けてください。また、カートリッジをヘッドシェルの先端と平行に取付けます。
- ② カートリッジのリード線のL、R極性は以下のようになっています。

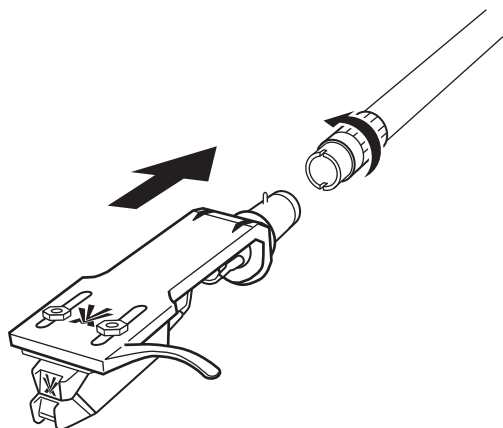
赤のリード線	R+	緑のリード線	R-
白のリード線	L+	青のリード線	L-

ご 注 意

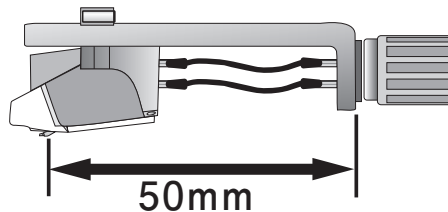
軽いカートリッジ (4g ~ 5g) を取付ける場合は、付属のシェルウェイトをご使用ください。



- ③ トーンアームの前部にヘッドシェルを差し込みヘッドシェルが固定されるまで、ロックリングを矢印の方向に回します。



- ④ カートリッジの取り付け位置の調整します。
A.S.T.S では、一般のS字タイプのトーンアームで必要とされるオーバーハングの調整は必要ありません。ただし、最大限に A.S.T.S 性能を引き出すためには、下のようにカートリッジの針先とヘッドシェルの根元との間の距離を 50mm 程度に調整して下さい。



ご注意

カートリッジを前後に動かす際、針先が指やターンテーブルに触れて破損することのないよう、慎重に行ってください。

接続と設置

PHONO 端子の接続

- ① 付属の RCA ケーブルと GND ケーブルを本体リアパネルにあるアウトプット端子と GND 端子に接続し、これらのケーブルを使用するアンプやオーディオミキサーの PHONO 入力端子と GND 端子に接続してください。



ご注意

アース線の接続は必ず行ってください。アース線を接続しませんでしたと電源ハム（ブーンという音）が出ます。

電源プラグの接続

電源プラグをコンセントに接続します。

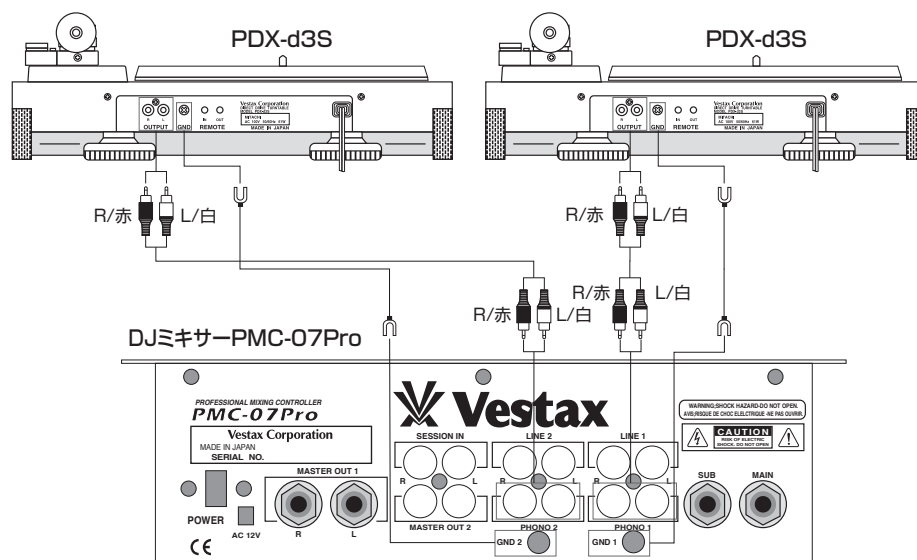
ご注意

本機は交流 (AC) 電圧 100V でご使用いただくようになっています。200V の電圧や直流 (DC) 電源には絶対接続しないでください。

プレーヤーの設置

- ① 外部振動を受けない、しっかりした水平な場所に設置してください。
- ② スピーカーシステムからできるだけ離して設置してください。
- ③ 直射日光、ほこり、湿気などの多い場所や、暖房器具の近くは避けてください。
- ④ 通風の良い場所を選んでください。
- ⑤ ラジオ (FM/AM) を極端に近づけますと、ラジオに雑音が入る場合がありますので、できるだけ本機より離してください。

接続例



調整のしかた

水平(ゼロ)バランス調整と針圧調整

- ① 針先にふれないように注意して、針カバーをはずし、トーンアームをアームレストから離してフリーの状態にします。
- ② バランスウェートを廻しながらトーンアームが水平になるように調整します。
- ③ 水平バランスを調整した後トーンアームをアームレストに戻します。

ご注意

水平バランス調整するとき、カートリッジの針先がターンテーブルや本体に触れないようにしてください。

- ④ 水平バランス調整後バランスウェートを動かさないように指で支え、カウンターリングだけを廻し、アーム軸の中心線にカウンターリングの目盛“0”を合わせます。

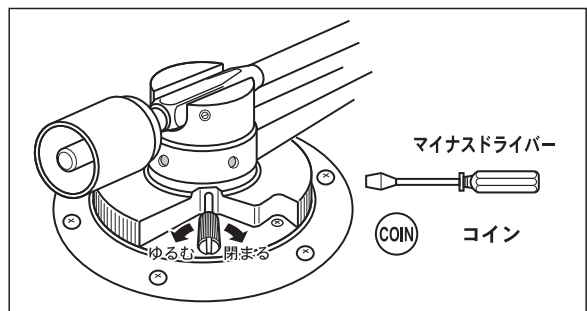
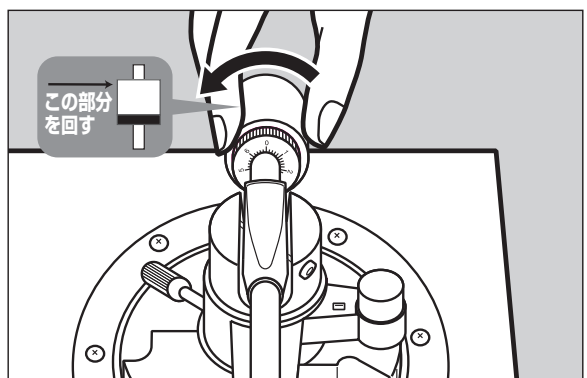
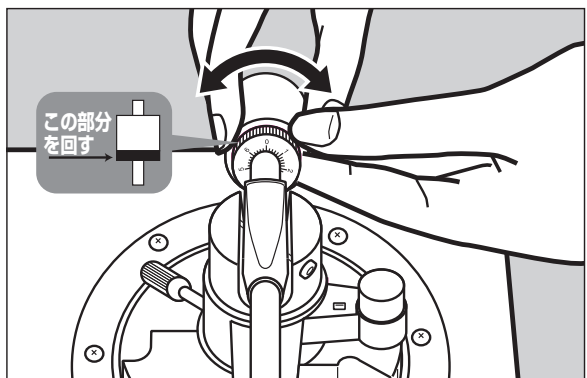
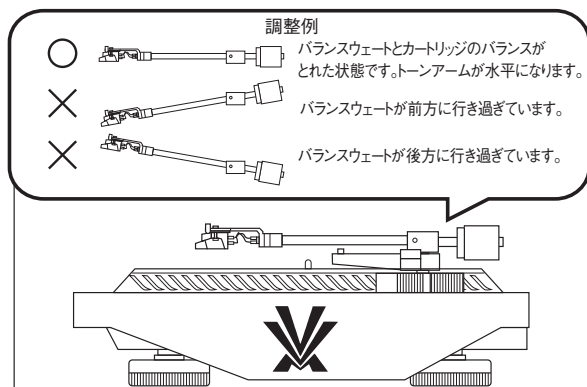
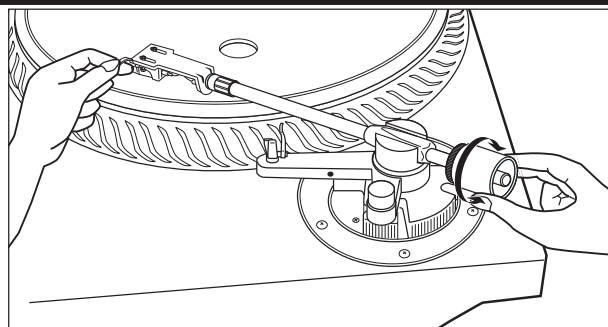
ご注意

バランスウェートが動いてしまった場合は、もう一度水平バランス調整からやり直してください。

- ⑤ バランスウェートを図の矢印方向に廻してカートリッジ指定の針圧に合わせます。バランスウェートを廻しますとカウンターリングも一緒に動きますから、カウンターリングを直読みしながら適正な針圧力に調整します。

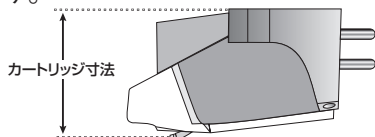
ご注意

スクラッチプレイを行う際、針圧を加えすぎると針飛びの原因となります。また、針圧は加えすぎると針先の寿命が短くなります。適正針圧にてご使用ください。



アームの高さ調整

- ① ご使用カートリッジによりアームの高さ調整が必要な場合、アーム高さ調整ネジを廻して調整します。アームの高さ調整範囲は最大6mmです。



カートリッジの寸法 16mm → 高さ調整必要なし
カートリッジの寸法 25mm → 高さ調整 +9mm (最大)

ご注意

アーム高さ調整ネジはマイナスドライバー、コイン等で確実に締め込んでください。十分に締め込まれていない場合、針飛びの原因となりますのでご注意ください。

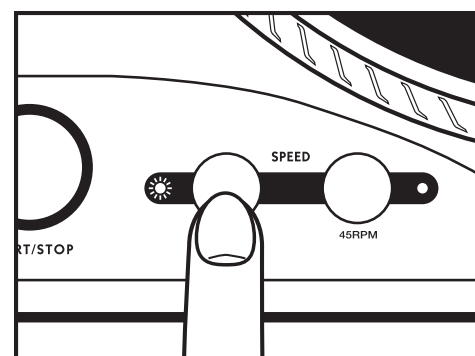
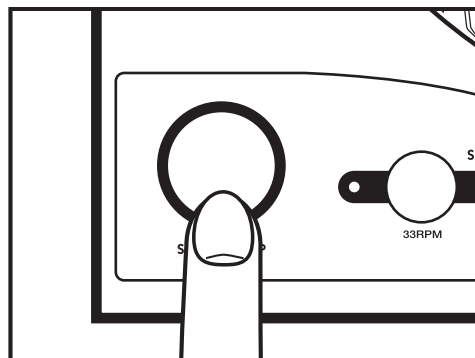
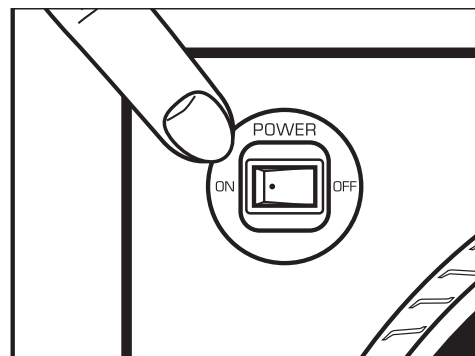
演奏のしかた

- ① レコード盤をターンテーブルシートにのせます。
- ② 上面の左後部に配置されたパワースイッチを押し電源を ON にします。
- ③ 針カバーをはずします。
- ④ スタート／ストップボタンを押します。ターンテーブルは回転します。
- ⑤ トーンアームをレコード盤上に移動し、針先を静かにレコード盤に下ろします。
- ⑥ 演奏するレコードの回転数をスピード切替えボタンを押し、33 1/3rpm か 45rpm かを設定します。

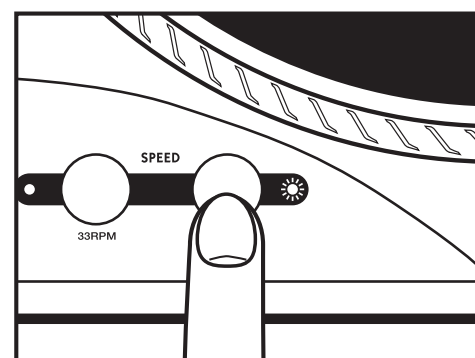
ご注意

スタート／ストップボタンを押さずにパワースイッチを OFF にした場合、電子ブレーキは働きません。

- ⑦ 演奏が終わりましたら、トーンアームをアームレストに戻します。また、針先保護のため針カバーをつけておいてください。
- ⑧ スタート／ストップボタンを押します。ターンテーブルは電子ブレーキによりなめらかに停止します。その後、パワースイッチを押して電源を OFF にしてください。



☀ 点灯：33rpm に設定されます。



☀ 点灯：45rpm に設定されます。

ドーナツ盤レコードを演奏する場合

付属の EP レコード用アダプターをセンタースピンドルにはめ、ドーナツ盤のレコードを EP アダプターにはめ込んでから演奏をはじめてください。

デタッチャブル ミニライトについて

本機には演奏中に針先を照らすために、取外し可能なデタッチャブル ミニライトがオプションとして用意されています。特に必要のない場合には、取り外してご使用になれます。

デジタルコントロール部の機能

① フェーダーピッチレンジ切替えスイッチ

このスイッチを押すことにより、フェーダーのピッチ可変幅を $\pm 3\%$ 、 $\pm 6\%$ 、 $\pm 12\%$ に設定することができます。ディスプレイを見ながらスイッチを連続押し（約 1 秒以内のタイミングで）し、設定したい可変幅を表示させ、止めてください。この段階で選択した可変幅に設定され、ディスプレイはピッチ表示に戻ります。

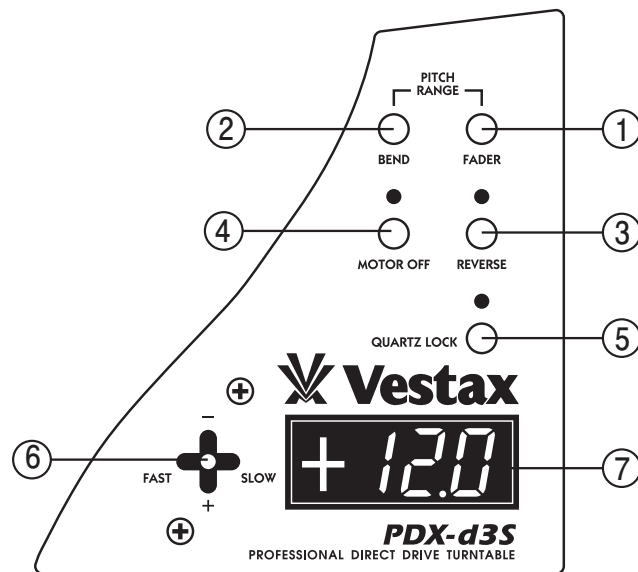
ディスプレイの表示



スイッチを押すたびに上図の様に表示が切り替わります。

ご 注 意

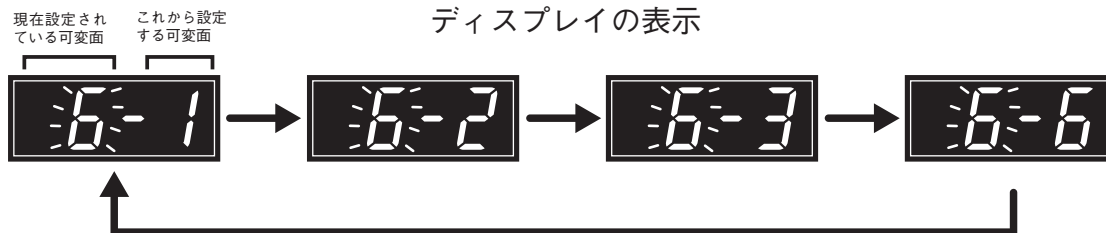
設定したピッチ可変幅の数値と実際にディスプレイに表示される数値は、フェーダーヴォリューム自体の電気的性能限界により、 $\pm 0.9\%$ 以内の誤差がありますが、ディスプレイに表示される数値はフェーダーヴォリュームの電機抵抗と同期していますので、フェーダーヴォリュームの位置よりもディスプレイに表示される数値を目安にしてください。



② BEND [ピッチベンドレンジ切替えスイッチ]

このスイッチを押すことにより、ピッチベンドの可変幅を $\pm 1\%$ 、 $\pm 2\%$ 、 $\pm 3\%$ 、 $\pm 6\%$ に設定することができます。スイッチを押しますと、ディスプレイの左側に点滅した数値、右側には点灯した数値が表示されます。左側で点滅している数値は現在設定されている可変幅で、右側の数値はこれから設定する可変幅を表しています。設定を切替えるには、スイッチを押しつづけ、設定したい可変幅を右側に表示させます。しばらくしますと、左側の点滅が点灯に切替わり、右側で設定した数値と同じ数値になります。この段階で選択した可変幅に設定され、ディスプレイはピッチ表示に戻ります。

ディスプレイの表示



スイッチを押すたびに上図の様に表示が切り替わります。

③ REVERSE [リバーススイッチ]

このスイッチを押すことにより、ターンテーブルの回転を逆回転に設定することができます。正回転の状態、スイッチを押しますと、“ron” (reverse on) とディスプレイに表示され、スイッチ上の LED が点灯し、ターンテーブルの回転は逆回転に設定されます。もう一度押しますと、“roF” (reverse off) とディスプレイに表示され、スイッチ上の LED は消灯し、逆回転設定が解除されます。なお、ディスプレイに表示されるピッチ表示の“±”は、現在回転している方向が常に“+”表示となります。

ご 注 意

本体の電源をオンにしたときの初期設定は、33rpm でクォーツロック OFF の状態となります。

④ MOTOR OFF [モーターオフスイッチ]

このスイッチを押すことにより、モーター制御回路が切断され、ターンテーブルの回転は自然に速度を落とし、静止します。ターンテーブルが回転している状態でスイッチを押しますと、“SoF” (Servo off) とディスプレイに表示され、スイッチ上の LED が点灯し、モーター制御回路が切断されます。もう一度押しますと、“Son” (Servo on) とディスプレイに表示され、スイッチ上の LED が消灯します。このとき、モーター制御回路が接続されターンテーブルは回転をスタートします。

⑤ QUARTZ [クォーツロックスイッチ]

このスイッチを押すことにより、ターンテーブルの回転がピッチコントロールフェーダーの位置に関係なく 33rpm または 45rpm に正確にロックされます。スイッチを押しますと、“qon” とディスプレイに表示され、スイッチ上の LED が点灯し、クォーツロック状態に設定されます。このとき、ピッチベンド機能もピッチコントロールフェーダーと同様に無効になります。もう一度スイッチを押しますと、“qoF” とディスプレイに表示され、スイッチ上の LED が消灯し、クォーツロックが解除されます。

ご 注 意

逆回転の際、ご使用になるレコード針によっては、出力音声に歪みを発生させる場合がありますのでご注意ください。

⑥ STICK CONTROLLER [スティックコントローラー]

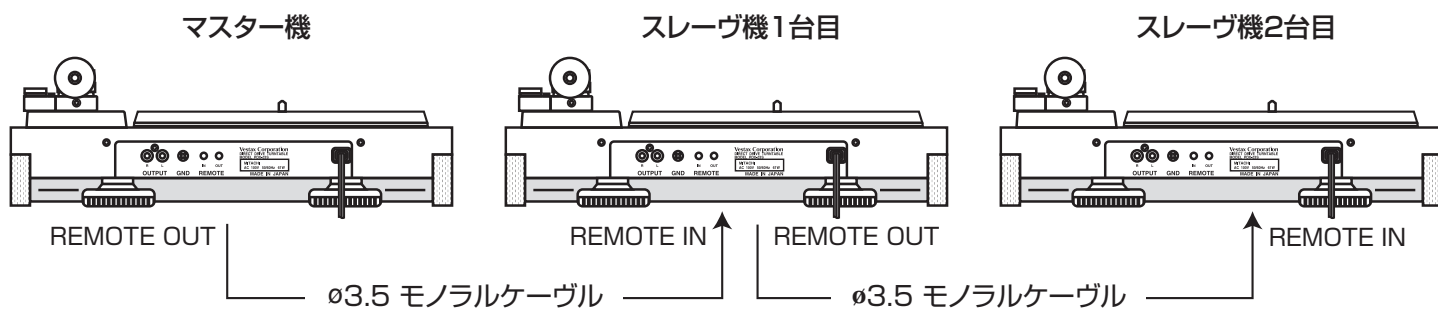
このを左側に徐々に倒していくと、ターンテーブルの回転速度が上昇していきます。このとき、ディスプレイには“FAS” (FAST) と表示されます。また、逆にスティックコントローラーを右側に徐々に倒していくと、ターンテーブルの回転速度が下降していきます。このとき、ディスプレイには“SLo” と表示されます。尚、この機能はクォーツロックが ON の状態でも有効となります。次に、スティックコントローラーを縦方向前方に倒しますと、現在設定されている回転ピッチが(用)で設定した可変幅分だけ更にマイナスとなり、逆に手前方向に倒しますと、更にその分だけプラスされます。この機能により、直接ターンテーブルに触れずに回転ピッチを微調整することが可能です。

シンクコントロールについて

本機を2台接続することにより、シンクコントロールをすることができます。

- ① 直径 3.5mm のモノラルフォンプラグ型ケーブルを用意して下さい。(一般の電気店、楽器店などで別途お買い求め下さい。)
- ② 本体リアパネルにある REMOTE IN 端子と、2 台目のリアパネルにある REMOTE OUT 端子を用意したケーブルで接続します。
- ③ 本体上面にある SYNC ON/OFF スイッチを ON に設定します。
- ④ 前ページで説明をいたしましたデジタルコントロール部において、いずれかのスイッチを先に押したほうの本体がマスター機として設定され、もう一方はスレーブ機として設定されます。
- ⑤ マスター機側のデジタルコントロール部の機能を操作すると、スレーブ機は自動的にマスター機と全く同じ動作をします。
- ⑥ スレーブ機側の REMOTE OUT 端子と、さらに 3 台目の REMOTE IN 端子とをケーブルで接続しますと、この 3 台目もスレーブ機として設定され、マスター機と全く同じ動作をします。
- ⑦ このような方法で合計 4 台まで接続することができます。

接続例



故障かな？と思ったら

本機の調子がおかしいとき、修理に出される前にもう一度点検してください。
それでも正常に動作しないときは、お買い上げになった販売店にご相談ください。

症 状	考えられる原因	処 置
電源が入らない。	電源プラグがはずれている。	確実に電源プラグを差し込む。
電源を入れても音が出ない。	各機器の接続が間違っていないか。	正しく接続する。
音量が小さい。	レコードプレイヤー本体の出力をアンプ／オーディオミキサーのAUX INまたはLINE INに接続していませんか。	アンプ/オーディオミキサーのPHONO INに接続し直す。
	レコードプレイヤー本体に取りつけているカートリッジに、MCタイプを使用していませんか。	カートリッジをMMタイプへ交換する。(MCタイプを使用する場合はヘッドアンプが必要です。)
左右の音が逆になる。	各機器の接続が間違っていないか。	正しく接続する。
演奏中にブーンという低い音(ハム音またはバス音)が入る。	接続コードの近くに蛍光灯などの電気器具や電源コードがありませんか。	蛍光灯または他の機器の電源コードをできるだけ離してみる。
	レコードプレイヤー本体のアース線がはずれていませんか。	アース線をGND端子に接続する。
ランブルノイズや低周波ハウリングが起こる。	レコードプレイヤー本体の近くにスピーカーがありませんか。	スピーカーをプレイヤー本体から離す。
針が飛んだり、横すべりする。	レコードプレイヤー本体が水平な場所に設置されていない。	水平な場所に設置する。
	針圧が正しくない。	正しい針圧に設置する。
	レコードが汚れているか傷がついている。	レコードをクリーニングするか他のレコードと交換する。
音が片方しか出ない。または全くでない。	ヘッドシェルがトーンアームに確実に取り付けられていない。	確実に取り付ける。
	ヘッドシェル内のカートリッジリード線がはずれている。	確実に接続する。
正常な音質が得られない。	針先にゴミがたまっているか消耗していませんか。	針先のゴミを専用のクリーニングブラシで取り除くか、針先を新品と交換する。
演奏スピードが正しくない。	回転数の設定が誤っていませんか。	レコードに記載されている回転数に合わせる。
ターンテーブルが回転しない。	電源プラグがはずれている。	確実に電源プラグを差し込む。

保証とアフターサービス (必ずお読みください)

保証書(別添)

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

— 保証期間 —
お買い上げの日から1年です。

補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り8年です。

この期間は通産省の指導によるものです。

性能部品とは、その製品の機能を維持する為に必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

異常のあるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
(保証期間中であっても、内容により有償となる場合があります。)

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。
見積りの必要場合はあらかじめお伝えください。

便利メモ	お買い上げの日	
	お買い上げ店名	☎ () —

主 な 仕 様

TURNTABLE	MOTOR	DIRECT DRIVE QUARTZ
	STARTING UP TIME	0.5sec(33 1/2 rpm) 70°
	STARTING TORQUE	1.6kg cm
	BRAKING SYSTEM	ELECTRONIC BRAKE
	RAMBLE(S/N RATIO)	78dB(IEC 98 WTD)
	SPEED	33 1/2 rpm, 45rpm
	PITCH	±10%(DETOUCHABLE 100mm FADER)
	WOW & FLUTTER	0.03% W.R.M.S.
ARM	TYPE	ANTI SKIPPING TONE-ARM SYSTEM. TRACING HOLD BALANCE SYSTEM
	EFFECTIVE LENGTH	230mm ±1mm
	TRACKING ERROR	+2°32'~+0°32'
	STYLUS PRESSURE	ADJUSTMENT RANGE 0~7.0g
	LIGHT(OPTIONAL)	DETOUCHABLE MINI LIGHT DC12volt 100mA
	SPEED LOCK	QUARZ LOCK
	REMOTE	MOMENTARY START(MINI JACK)
	DIMENSION	(W)450mm X(H)150mm X(D)370mm
	WEIGHT	9.5kg
	POWER	AC100V

